



ヘリコプターマネー

生みの親はバーナンキ前 FRB（米連邦準備理事会：日本の日銀と同じ中央銀行）議長である。

通貨を発行する中央銀行が直接政府の財政ファイナンスをすることを言う。

空飛ぶヘリコプターがばら撒いて地上に降ってくるマネーを使って財政支出をするのだから政府としては金利を払うことも返済する必要もない。

言わば拾った金の使い捨てである。

安倍内閣は「絶対に延期しない」と言った消費税延期をするために有名なノーベル受賞者で経済学者であるポール・グルックマンを官邸に招き、消費税延期論を述べさせた。

通産省時代ブリュッセルで情報活動をし、現在安倍総理特別秘書官をしている今井氏は EU 情報通だから 6 月 23 日英国の EU 離脱で株価がリーマンショック並みの暴落になること知っていて安倍首相に進言、首相は自信を持って「リーマンショックのようなリスクがあるので」と何度も繰り返した。

当時どこを見ても株価暴落の兆しはなかったので野党は「何を寝ぼけたことを言っているのだ」と繰り返したが結果は安倍首相の勝ちに終わった。

安倍首相は実効 28 兆円以上の財政投融资を発表、財源を問われると「赤字国債は発行しない」、「建設国債を考える」と言い、黒田総裁は「ヘリコプターマネー政策は採らない」と口を揃える。

2013 年 4 月から今日では年 80 兆円の緩和を行っている。

確かに日銀法で禁止されている直接政府債務を買い取るヘリコプター・ファイナンス（財政ファイナンス）はしていないが、市中銀行に政府が国債を発行、入札する度に買わせた上で日銀が総てを買い取っているのだから正しく財政ファイナンスである。

このままでは政府発行債券をすべて日銀が引き取ることになる。

日銀はヘリコプターマネー政策を緩和スタート以来 3 年間続けているのである。

そこで日銀に財政協調の名のもとにヘリコプターマネー政策を継続してもらう為ヘリコプターマネーの神様、FRB 前議長バーナンキ氏を 7 月 11 日首相官邸に招いた。

氏は「日銀には緩和の余地が十分ある」と述べてもらって安倍首相も麻生氏もご満足。

7 月 23・24 日の政都（中国）G20 サミットでルー米財務長官は黒田総裁と麻生財務大臣に「通貨安競争は回避すべきだ」と念を押した。

「追加緩和をするな」ということである。

ルー財務長官の発言はバーナンキ氏帰国後であることが重要。

ルー長官は麻生・黒田両人が合意した上海合意（円高・ドル安合意）の精神を 7 月 23・24 日の国際会議で繰り返し念を押している。

高い金を払ってバーナンキ氏を呼んでヘリコプターマネーにお墨付きをもらっても国民は騙せても、宗主国アメリカはうんと言わないのでは。

4 月市場はほぼ 100%日銀の追加緩和を予想していたが裏切られ株価が急落。

私は「こー一番！」の読者の一部に会合前日に電話して「後場で買えるだけ買うように。明日は黒田総裁の記者会見の前まで株価が上げ続けるから、会見が始まる直前にすべてを売るように」と電話をしたので大儲け続出だった！

さあ、今回はどうなるでしょうか。勿論「こー一番！」の読者にはアドバイス済み。



一步先を行く

増田俊男の「ここ一番！」

メール又は
FAXにて配信中!

増田俊男を独占する
「ここ一番！」はタイムリーなアドバイス。
裏と表の政治・経済。
面白く、楽しく儲けましょう。

- 【情報発信方法】 e-mail 又は FAX
※携帯電話へのメール配信は出来ませんので予めご了承下さい。
- 【情報発信内容】 株・為替・金（ゴールド）を中心に内外政治・経済速報
- 【発信時期回数】 不定期 <配信実績> 7月6回、6月8回、5月8回
- プランA 3ヶ月 ￥50,000（税抜） ￥54,000（税込）…正規料金
- プランB 6ヶ月 ~~￥108,000（税込）~~ → ￥97,200（税込） 10%OFF
- プランC 12ヶ月 ~~￥216,000（税込）~~ → ￥162,000（税込） 25%OFF
- 【情報料】 前払い（お振込み完了後からの配信となります。）

申込書

フリガナ

お名前

ご住所（自宅・会社）〒

勤務先 役職

TEL FAX

e-mail

に✓をお願いします。

<希望配信方法> e-mail FAX

<希望プラン> プランA プランB プランC

<振込先>

みずほ銀行 池袋西口支店 当座 0106544 マスダユーエスリサーチジャパン（カ

※振り込み手数料は、各自ご負担下さい。
※振り込み完了後のキャンセルは出来ませんので予めご了承下さい。
※振込控えを持って領収書に代えさせていただきます。

投資に関する最終判断は、投資家自身の自己責任で行いますようお願い致します。
当社は、この情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。

FAX 送信先：03-3955-6466

マスダ U.S. リサーチジャパン株式会社